

玉田医師からのメッセージ

今年の4月に赴任しました。専門は婦人科腫瘍です。都内ではレディースクリニックを多く見かけますが、古河ではまだ身近とはいえません。当院は病院ではありますが、地域の「レディースクリニック」のような存在でありたいと考えています。

婦人科
玉田　裕（たまだ ゆたか）医師

Q 生理痛にはピルが効果的と聞いたのですが？

A 避妊薬として知られるピルには、生理痛をやわらげる働きがあります。また、不妊症の最たる原因である子宮内膜症を予防し、卵巣がんや子宮体がんの発生リスクを下げるメリットも期待できますので、生理痛がひどい方には積極的な活用をお勧めしています。

Q 婦人科医として大切にしていることは？

A 婦人科の患者さんは、20代～50代の働き盛りが中心です。まさに社会や家庭で活躍されている方々が、生理の痛みや不調で仕事を休んだり、日常生活をがまんしたりしなくて済むように、医師として力になりたいと思っています。



Q 患者さんへのメッセージをどうぞ

A 婦人科は受診のハードルが高いと感じる方も少なくありません。しかし、症状が軽いうちに相談していただくことで、選べる治療の幅も広がります。特にがんは、早期発見が大切です。いきなり診察をするわけではなく、まずは相談から始められますので、気になることがある方は、どうぞお気軽に窓口へお越しください。



診察室に入ったからといって、いきなり診察を始めるわけではありません。まずはお話を伺い、不安や疑問に寄り添いながら進めていきます。



症状やお悩みに応じて、病気や検査、あるいは薬について、分かりやすく丁寧に説明します。